KYOSHO MotorSports

KYOSHO CUP

NEW RACE CATEGORY

DRX CHALLENGE

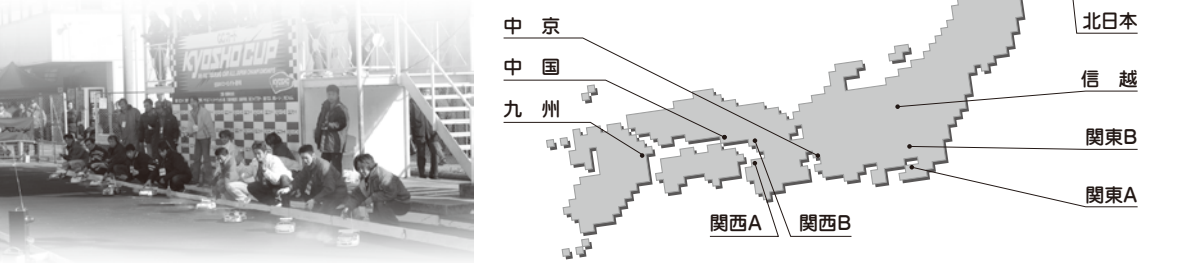
KYOSHO TROPHY 2010

REGULATIONS BOOK

＜レギュレーションブック＞

www.kyosho.com

さらにバージョンアップ！
サタデーレースにDRXチャレンジを追加!!

昨シーズン、TF-5とSPADA 09LによるサタデーレースをLを加えてKYOSHO TROPHYとなったこの大会も17年目を迎え、今シーズンはさらなるバージョンアップを果たします。好評のサタデーレースに「DRXチャレンジ」を追加し、これまで以上にツーリングカーレースを楽しめます。土曜日、日曜日共にツーリングカーレース愛好家の挑戦を待っています。全国9地区の予選を勝ち上がり、日本一を目指そう！

KYOSHO TROPHY 2010 シーズンレースカレンダー

※日程及び開催地は変更となる場合があります。会場により参加・観戦に入場料、駐車料が必要になる場合があります。

日 程	ブロック	会 場	会場内場所	TF・SP・DRX	K-CUP	申込み締切り
4月25日	関西A	和歌山県和歌山市　和歌山マリーナシティー	駐車場	×	○	4月11日
6月12日・13日	信 越	長野県茅野市　白樺リゾートファミリーランド	カナダゲート前駐車場	○	○	5月30日
6月27日	関東A	千葉県袖ヶ浦市　東京ドイツ村	駐車場	×	○	6月13日
7月3日・4日	中 国	岡山県玉野市　おもちゃ王国	イベント広場	○	○	6月20日
8月21日・22日	北日本	北海道函館市　ポールスターショッピングセンター	駐車場	○	○	8月8日
9月4日・5日	関東B	埼玉県川越市　川越水上公園	テニスコート前駐車場	○	○	8月22日
9月11日・12日	関西B	兵庫県神戸市　神戸市立フルーツ・フラワーパーク	駐車場	○	○	8月29日
10月2日・3日	中 京	愛知県蒲郡市　ラグーナ蒲郡	ラグナシア駐車場	○	○	9月19日
11月27日・28日	九 州	大分県大分市　大分スポーツ公園(大分銀行ドーム)	駐車場	○	○	11月14日

2011年 3月 ファイナルチャンピオンシップ開催!!

開催地：全ての地区大会終了後に発表

エントリーお申込み方法（正しい応募方法で確実に！）

最終お申込み締切り・開催日の2週間前に締切り。

日曜日のWエントリー不可。（敗退後、後日開催のレースへエントリーする場合はクラス変更することが可能です。）大会の最終ご案内は、お申込み締切り後に、全参加者へ個別に郵送いたします。

郵便・FAXでのお申込み

所定のお申込み用紙（レギュレーションブックP18〜P19）にご記入の上、郵送またはFAXにて右記までお申込みください。

〒243-0034 神奈川県厚木市船子153
京商株式会社 "KYOSHO CUP 2010"エントリー係
FAX.046-229-4031

インターネットからのお申込み

京商ホームページ内の大会お申込み案内に従いお申込みください。

http://www.kyosho.com

TF-5 SUPER GT CHALLENGE & SPADA CHALLENGE & DRX CHALLENGE 競技規則

■大会名

KYOSHO TROPHY 2010
「R/Cドライバー チャンピオンシップ」

■種　目

<TF-5 SUPER GT チャレンジ>TF-5レディセット、TF-5S、EP FAZER
<スパーダ チャレンジ>SPADA 09L
<DRX チャレンジ>DRX

■開催日・開催地

前ページ参照（KYOSHOホームページ」、R/C専門各誌大会案内ページにて告知、R/C専門各誌大会案内ページにて告知）

■時　間

各大会ともAM8:00受付（事前エントリーが必要）
※受付時間は会場により変更になる場合あり。

■エントリーフィー（参加費）

1クラス／1,000円
（ダブルエントリーまで可）（開催日当日徴収、大会開始後は返金不可）

■競　技

<参加資格> ※3種目共通
平成17年以降で、JMRCA主催の全日本選手権においてファイナリストとなった経験をお持ちの方は参加できない。また、R/Cメーカー関係者の方はご遠慮ください。ただし、プレス関係者の方は、先の条件を満たしていれば参加することができる。全日本ファイナルチャンピオンシップ出場権を獲得した選手はその後、他の地区大会への同クラス参加はできない。

<メカニック（助手）>
レース時はコースマーシャル（レース中の車両転倒などを直す係）を設けないので、当日は各自メカニックとなる方とご来場すること。メカニックは選手同士で行ってもかまわない。

■ファイナルチャンピオンシップ大会出場権

※会場までの交通費、宿泊費等は各自ご負担ください。※3種目共通
●1〜10名参加……………………………… 1名進出
●11〜20名参加 …………………………… 2名進出
●20名以上参加 …………………………… 3名進出

<コンクール・ド・エレガンス>
レース開始前にボディのカラーリング審査を行い、コンクール・ド・エレガンス賞を各クラス選出する。審査対象のボディはレースで使うものとする。

<雨天・荒天時>
主催者の判断により雨天・荒天時には中止とする。中止となった場合、該当地区からのチャンピオンシップ進出選手の選出は行わない。

<レース方式>

SUPER GT / SPADA / DRX

上位選手が
ファイナルチャンピオンシップ
出場権獲得

全て8分間の周回レース。スタートはグリッド方式。

決勝Aメイン
予選順位**1位〜10位**で行う
8分間の周回レース。

決勝Bメイン
予選順位**11位〜20位**で行う

決勝Cメイン
予選順位**21位〜30位**で行う

決勝Dメイン
予選順位**31位〜40位**で行う

予　選
3分間のタイムアタックを2回行い、その中のベストラップにより、予選成績とする。ただし、1位〜10位の選手は、スーパーラップを行い最終グリッド順位を決定する。

※エントリー数およびレースの進行状況や天候状況によっては、各レースの時間短縮、またはレース内容を変更する場合がある。※予選41位以下は予選落ちとなる。

<注　意>
大会中の事故・ケガおよび盗難等に関して、主催者は一切の責任を負わない。特にレース中は各自の責任において充分に注意すること。万一のためにもラジコン保険への加入を推奨する。

<スーパーラップ>
予選順位1〜10位の選手によって行われる、スペシャルステージ。10位の選手からコースインし、ワンラップのみのタイムアタックを行う。ここでのタイムが最終予選結果となる。（エントリー数により行われない場合がある。）

【オフィシャルの権限】
参加チームはレース全般において発生した不測の事態での判断・決定権は全てオフィシャルにゆだねる事とする。

【注意事項】
■決勝Dメインから決勝Aメインまでの間に、何らかの理由により実行委員会がレース続行不可能と宣言した場合、レース成立の是非はオフィシャルが判断する。
■レース中のピット作業（破損時の修理作業を含む）はレース時指定のピットエリア内で行うこと。
■コースマーシャルは設けないので、コース上での転倒、エンジン停止等はピット要員が対処すること。
■DRXチャレンジはジャンプやパイロン等を設置しレースを行う場合がある。

車両規定（TF-5S）

TF-5S

キット標準パーツは全て使用可

※TF-5レディセットは指定パーツ（ボディ含む）を使用することで参加可。

指定パーツ

モーター

モーター	
G20モーター	70701
R246ブラシレスモーター KV2000	R246-8301

※G20モーターのエンドベル部分へ手を加えることは一切禁止とする。

ESC（ブラシレスの場合）

ESC（ブラシレスの場合）	
SC-060 センサーレスアンプ	R246-8321
ボルテックス Experience センサーレス	ORI65005
ボルテックス Experience 2 ESC（STDプラグ）	ORI65010
ボルテックス Experience 2 ESC（Sプラグ）	ORI65011

ホイール

京商より発売の各種スポークホイール

バッテリー

バッテリー	
YUNTONG 2200	R246-8411
YUNTONG 3000	R246-8422
YUNTONG 3600	R246-8413
P17記載のORION製スポーツパワーシリーズ	

※バッテリーシュリンクへの穴開け等の加工は禁止とする。

タイヤ

タイヤ	
KCスリックタイヤシリーズ	92018S/M/H

ボディ

ボディ	
ニッサン GT-R GT500 2008	39292
ニッサン フェアレディZ GT500 2007	39286
トヨタMR-S GT300 2007	39288
レクサス SC430	39277
ホンダ NSX GT500 2007	39287
ポルシェ 911 GT3 RSR	39285
アストンマーティン DBR9 2008	39297

※ボディのカットは取扱説明書に従うこと。

禁止事項	●シャシー・アッパーデッキ・ダンパーステーはカーボンパーツの使用禁止　●ワンウェイユニットの使用禁止　●ディッシュホイールの使用
車検対象外部品について ※右記のパーツは車検時に審査の対象外とする。	○ビス・ナット類　○ボールエンド　○ダンパースプリング　○各種ロッド　○サーボ・受信機・ブラシモーター用ESC　○モーターコード ○スパーギヤ、ピニオンギヤ　○アンテナパイプ　○グリス・オイル類　○ベアリング、軸受けメタル類　○ボディピン ○ドレスアップパーツ　○タイヤインナー

推奨パーツ	
アルミモーターマウント	TF017
アルミサスホルダー	TF131
アルミデフシャフト	TFW001
クランプホイールハブ	TFW031
ユニバーサルスイングシャフト（フロント用）	TFW032
アルミスプールシャフト	TFW051
アルミスパーギヤホルダー	TFW052
ユニバーサルスイングシャフト（リア用）	TFW053
スタビライザー	LA236-10B/11B/12B/13B/14B/15B/16B
SPサスブッシュ	LAW32
トリプルキャップスレッドショック	W5189
ベルベットコートスレッジショックケース	W5189-07V
ハードアッパーロッド	TFW003

※京商純正パーツ（無加工）に限る

車両規定（EP FAZER）

FAZER

キット標準パーツは全て使用可

指定パーツ

モーター

モーター	
G20モーター	70701
G27モーター	70702
R246ブラシレスモーター KV2000	R246-8301

※G20、G27モーターのエンドベル部分へ手を加えることは一切禁止とする。

ESC（ブラシレスの場合）

ESC（ブラシレスの場合）	
SC-060 センサーレスアンプ	R246-8321
ボルテックス Experience センサーレス	ORI65005
ボルテックス Experience 2 ESC（STDプラグ）	ORI65010
ボルテックス Experience 2 ESC（Sプラグ）	ORI65011

ホイール

京商より発売の各種スポークホイール

バッテリー

バッテリー	
YUNTONG 2200	R246-8411
YUNTONG 3000	R246-8422
YUNTONG 3600	R246-8413
P17記載のORION製スポーツパワーシリーズ	

※バッテリーシュリンクへの穴開け等の加工は禁止とする。

タイヤ

タイヤ	
KCスリックタイヤシリーズ	92018S/M/H

ボディ

ボディ	
ニッサン GT-R GT500 2008	39292
ニッサン フェアレディZ GT500 2007	39286
トヨタMR-S GT300 2007	39288
レクサス SC430	39277
ホンダ NSX GT500 2007	39287
ポルシェ 911 GT3 RSR	39285
アストンマーティン DBR9 2008	39297

※ボディのカットは取扱説明書に従うこと。

禁止事項	●ワンウェイユニットの使用禁止　●ディッシュホイールの使用
車検対象外部品について ※右記のパーツは車検時に審査の対象外とする。	○ビス・ナット類　○ボールエンド　○ダンパースプリング　○各種ロッド　○サーボ・受信機・ブラシモーター用ESC　○モーターコード ○スパーギヤ、ピニオンギヤ　○アンテナパイプ　○グリス・オイル類　○ベアリング、軸受けメタル類　○ボディピン ○ドレスアップパーツ　○タイヤインナー

推奨パーツ	
リアスタビライザーセット	FAW002
SPサーボセイバースプリングセット	FAW004
スチールベベルギヤセット（39T）	VSW018
スチールベベルギヤセット（40T）	VSW019
スチールベベルギヤセット（38T）	VSW045
フロントスタビライザーセット（ソフト）	VZ084S
ウレタンフォームバンパー（ブラック）	VZW061
64チタンベベルシャフト	VZW211
トリプルキャップスレッドショック	W5189
ベルベットコートスレッジショックケース	W5189-07V
オンロードスプリングセット（S）	92491
ユニバーサルスイングシャフト	FAW008
アルミセンターシャフト	FAW051

※京商純正パーツ（無加工）に限る

車両規定（SPADA 09L）

キット標準パーツは全て使用可

※燃料はR246 GP FUEL(No.R246-8601)を主催者より支給。

指定パーツ

マフラー

マフラー	
キット標準	S09-200110
チューンドスポーツマフラー	SDW101

エアクリーナー

エアクリーナー
92907

エンジン

エンジン	
SIRIO 09B	625041

ホイール

ホイール
SDH101W
SDH102S
SDH102GL

※メインシャシーはキット標準品に限る

タイヤ

タイヤ
SDT101
SDT102

ボディ

ボディ	
日産マーチカップカー	SDB101
ミニクーパーS	SDB102

※ボディのカットは「KYOSHO CUP 2010」規定と同様とする。
ただし、リアウインドの開口は不可。

禁止事項
- ●エンジンの改造・変更。
- ●燃料タンクの改造・変更。

車検対象外部品について
※右記のパーツは車検時に審査の対象外とする。

○ビス・ナット類　○ボールエンド　○サスペンションスプリング　○各種ロッド(リンケージ)　○サーボ・受信機・バッテリー　○燃料チューブ　○アンテナパイプ　○グリス・オイル類　○ベアリング、軸受けメタル類　○ボディピン　○インナースポンジ　○サーボセイバー

推奨パーツ					
アルミフロントアクスルマウント	SDW001	スチールスロットルレバー	SDW005	フロントバンパー	SDW013
アルミセンターアクスルマウント	SDW002	カーボンアッパーデッキ	SDW007	1速ギヤ16T	SD027-16
アルミリアアクスルマウント	SDW003	カーボンリヤアッパーブレース	SDW008	2速ギヤ20T	SD028-20
SPリアアクスルシャフト	SDW004	ロールバーセット	SDW010	SPブレーキディスク	IF122

※京商純正パーツ(無加工)に限る

車両規定（DRX）

キット標準パーツは全て使用可

※燃料はR246 GP FUEL(No.R246-8601)を主催者より支給。

エンジンヘッド

エンジンヘッド	
SPクーリング&インナー	R246-4002

※ターボクーリングヘッドは不可

マフラー

マフラー	
マフラー(DBX/DST)	TR130
チューンドサイレンサーセット	TRW5
チューンドサイレンサー(Ø5.2)	VSW010
チューンドサイレンサー(Ø7.0)	VSW011
チューンドサイレンサー(Ø5.2/ポリッシュタイプ)	VSW017
チューンドサイレンサー(Ø6/ポリッシュタイプ)	VSW033
サイレントマフラー	VSW044
サイレントストリークチューンドマフラー	92971

エンジン

エンジン	
GXR18	74017

ホイール

ホイール
TRH121W/BK/GL
TRH111BK

エアクリーナー

エアクリーナー	
HGエアクリーナー	IF345
HDエアクリーナー	92304
エアクリーナー	92023
エアフィルター	92907

ダンパースプリング

ダンパースプリング	
スプリング	TRW101-1014
スプリング	TRW101-9514
スプリング	TRW101-9014

タイヤ

タイヤ	
ラリータイヤ	TRT121
ハイグリップタイヤ	TRT122

ボディ

ボディ	
スバルインプレッサ	TRB121/TRB171
シトロエン	TRB122/TRB172
ランチアストラトス	TRB173

※ボディの穴あけはKYOSHO CUPに準ずる。(P10参照)

禁止事項
- ●エンジンの改造　●燃料タンクの改造　●リコイルスターターの取外し

車検対象外部品について
※右記のパーツは車検時に審査の対象外とする。

○ビス・ナット類　○ストラップ類　○サーボ・受信機・バッテリー　○グリス・オイル類　○ボールエンド　○燃料チューブ　○グロープラグ　○各種ロッド　○サーボホーン　○アンテナパイプ　○ボディピン　○ベアリング、軸受けメタル類　○マフラーステー・ジョイントパイプ　○インナースポンジ

推奨パーツ					
ユニバーサルスイングシャフト	TRW107	クラッチベル	97034-18	3PCアルミクラッチシュー	IFW136
オイルダンパーセット	TRW105	SPブレーキディスク	IFW122	3PCアルミクラッチシュー	IFW339
ドレスアップブレーキディスクローター	TRW151BL	SPブレーキパッド	IFW330	3PCクラッチスプリング(Ø1.00)	IFW53
スタビライザーセット	TRW152	スチールベベルギヤセット(39T)	VSW018	3PCクラッチスプリング(Ø1.10)	IFW53H
クラッチベル	97034-16	スチールベベルギヤセット(40T)	VSW018	3PCクラッチスプリング(Ø0.95)	IFW53M
クラッチベル	97034-17	3PCアルミクラッチシュー	IFW52	3PCクラッチスプリング(Ø0.90)	IFW53S

※京商純正パーツ及びR246パーツ(DRX用)(無加工)に限る

KYOSHO CUP 競技規則

■大会名
KYOSHO TROPHY 2010
「KYOSHO CUP 全日本R/Cツーリングカー選手権」

■種　目
PureTen シリーズによるワンメイクレース（2クラス）
＜シリアスクラス＞
V-ONE S／SII／SIII／SIII Evo.、V-ONE SR、FW-05S／Tシリーズ、FW-06シリーズ
＜エンジョイクラス＞
V-ONE S／SII／SIII／SIII Evo.、FW-05S／Tシリーズ、FW-06シリーズ、FAZERシリーズ

■開催日・開催地
P2を参照
（KYOSHOホームページ、R/C専門各誌大会案内ページにて告知）

■時　間
各大会ともAM8:00受付
（事前エントリー申込みが必要。申込み方法はP2参照）
※受付時間は会場により変更になる場合あり。

■エントリーフィー（参加費）
1チームにつき4,000円
（R246 GP FUEL＜No.R246-8601（2ℓ）、No.R246-8611（4ℓ）＞燃料支給。開催日当日徴収、大会開始後は返金不可）
※中学生以下、または女性がドライバーとして参加するチームは3,000円となります（ダブルエントリー不可）。

■競　技
＜参加資格＞
【シリアスクラス】
R/Cを趣味とする、社会人および学生チーム。平成17年以降でJMRCA主催の全日本選手権においてファイナリストとなった経験をお持ちの方はドライバーとしての参加はできない。また、R/Cメーカーの関係者の方は登録をご遠慮ください。但しプレス関係者の方は、先の条件を満たしていれば参加することができる。
【エンジョイクラス】
シリアスクラスの参加資格に加え、過去の京商主催の全日本レースにおいて、ドライバーとして参加経験がある選手は参加できない。（メカニックとしての参加は可）

＜チーム体制＞
各大会1チーム2名以上とし、登録メンバーの変更は原則として自由だがチャンピオンシップ出場権を獲得したチームとチームメンバーは、その後地区大会へは、いかなる場合でも出場できない（メンバー変更も不可）。

■ファイナルチャンピオンシップ大会出場権
※会場までの交通費、宿泊費等は各自ご負担ください。
【両クラス共通】
●1～10チーム参加（決勝はAメインのみ）……………………… 1チーム
●11～17チーム参加（決勝はBメインまで）…………………… 2チーム
●18チーム以上（決勝はDメインまで）………………………… 3チーム

＜コンクール・ド・エレガンス＞
レース開始前にボディのカラーリング審査を行い、コンクール・ド・エレガンス賞を選出する。審査対象のボディはレースで使うものとする。

＜雨天時＞
小雨決行のため防水対策をしておくこと（P15参照）。荒天時にはやむをえず中止とすることがある。この場合該当大会からのファイナル進出チームの選定はしない。

＜注　意＞
大会中の事故・ケガおよび盗難等に関して、主催者は一切の責任を負わない。特にレース中は各自の責任において充分に注意すること。万一のためにもラジコン保険への加入を推奨。

＜レース方式＞

＜エンジョイクラス＞

上位チームが ファイナル チャンピオンシップ 出場権獲得

決勝Aメイン
予選順位
1・2・3・4・5・6・7位と
決勝Bメイン上位3チーム
で行います

上位3チーム

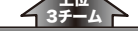
決勝Bメイン
予選順位
8・9・10・11・12・13・14位と
決勝Cメイン上位3チーム
で行います

上位3チーム

決勝Cメイン
予選順位
15・16・17・18・19・20・21位と
決勝Dメイン上位3チーム
で行います

上位3チーム

決勝Dメイン
予選順位
22・23・24・25・26
27・28・29・30・31位
のチームで行います

予　選
5分間の周回レースを2ヒート行ない、どちらか周回数の多いヒートを予選成績とする。予選成績を総合し成績順に各勝上がりレースへ。
※予選スタートは横1列一斉方式

全て15分間の周回レース。スタートはグリッド方式。

＜シリアスクラス＞

上位チームが ファイナル チャンピオンシップ 出場権獲得

決勝Aメイン
予選順位
1・2・3・4・5・6・7位と
決勝Bメイン上位3チーム
で行います

上位3チーム

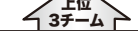
決勝Bメイン
予選順位
8・9・10・11・12・13・14位と
決勝Cメイン上位3チーム
で行います

上位3チーム

決勝Cメイン
予選順位
15・16・17・18・19・20・21位と
決勝Dメイン上位3チーム
で行います

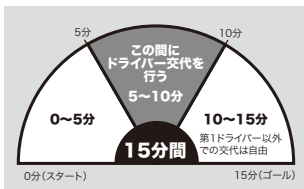
上位3チーム

決勝Dメイン
予選順位
22・23・24・25・26
27・28・29・30・31位
のチームで行います

予　選
5分間の周回レースを2ヒート行ない、どちらか周回数の多いヒートを予選成績とする。予選成績を総合し成績順に各勝上がりレースへ。
※予選スタートは横1列一斉方式

全て15分間の周回レース。スタートはグリッド方式。

＜オフィシャルの権限＞
参加チームはレース全般において発生した不測の事態での判断・決定権は全てオフィシャルにゆだねる事とする。

＜注意事項＞
■決勝Dメインから決勝Aメインまでの間に、何らかの理由により実行委員会がレース続行不可能と宣言した場合、レース成立の是非はオフィシャルが判断する。
■予選を除く各レースではドライバー交代を義務づける。5分経過時から10分経過時までに最低1回行う。

■レース中のピット作業（破損時の修理作業を含む）はレース時指定のピットエリア内で行うこと。
■コースマーシャルは設けないので、コース上での転倒、エンジン停止等はピット要員（1チーム2名まで）が対処すること。

その他規定

■車両規定の維持
参加車両は、走行中のいかなる場合も当規定を満たしていなければならない。ただし、特に主催者が認めた場合を除く。

■指定パーツ追加の告知について
本レギュレーションブックの発行以降、パーツ、エンジン等が発売された場合、実行委員会は審査の上、これを追加認定する場合がある。追加認定の告知は弊社ホームページにて確認。（ **http://www.kyosho.com** ）

■Tカー（予備車両）
Tカーは1チーム2台まで認め、レース中は自由に交換できる。ただしメイン車と同じバンド（周波数）を使用する。また、Tカーも車検を受けること。

■燃　　料
R246 GP FUEL＜No.R246-8601（2ℓ）、No.R246-8611（4ℓ）＞を主催者側より支給する。支給された燃料以外の使用は禁止する。燃料ポンプは大会時貸出品を使用すること。燃料への添加剤使用は認めない。

■使用プロポ
メーカーは問わない。27MHz帯はナローバンド対応プロポのみ使用可能（未対応プロポはあらかじめプロポメーカーに問い合わせ、対応検定を受けること）。また、予備バンドは必ず用意すること。とくに40MHz帯使用チームは27MHz帯も使用できるよう準備すること。レース進行において、バンド変更の指示が出された際、バンドを変更できないチームは以後出走出来ない。
※2.4GHz帯のバンドを使用する際は、日本国内の基準に適合した物のみ使用可能。

■トランスポンダ
配布されたトランスポンダを、それぞれのステーを使って、所定の位置へ装着すること。（FAZERの場合はボディに装着）

■車　　検
車検は受付時、および各レース終了直後にも随時行う。車両規定において直接目に見えない部分については、チームに分解を指示する場合がある。車検を怠ったチームには警告またはペナルティが与えられ、またレース進行中の車検にて新たに車両規定違反が発覚したチームは、厳重注意または前出走レースの成績減算（悪質または度重なる場合は全レースの成績無効）等の処置をとる。

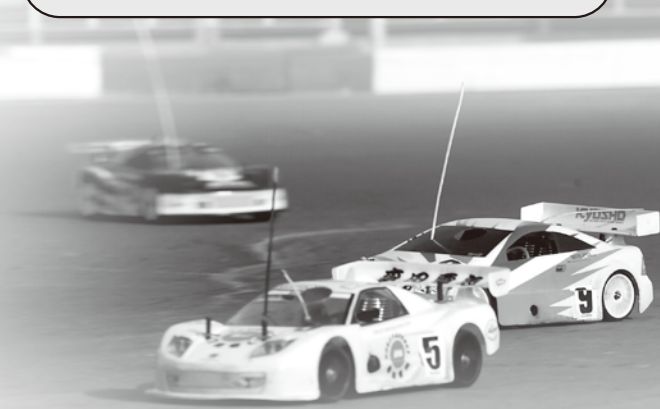
■スペアボディ
スペアボディの枚数制限は行わない。ただし、全て同車種・同塗装、同カラーリングとする。また、ボディも全て車検を受けること。車種変更を希望の場合は、再車検を受ける事でその使用を認める。また、V-ONEとFW、FAZERでボディの共用は認めない。

■防水対策としての自作部品
防水を目的とした自作部品（エアクリーナーや受信機のカバー）ならびにP15を参考とした加工は禁止しない。但し主催者がウェットレースを宣言した場合に限る。

■規定違反への処置
規定違反については、主催運営側の独自の判断にて確認を行う。他チームが特定チームの規定違反を申し出ても受け付けない。主催運営側は規定違反とみなしたチームに対し厳重注意または前出走レースの成績減算（悪質または度重なる場合は全レースの成績無効）等の処置をとる。なお、処置決定後はその処置について該当チーム/他のチームともいかなる意義申し立ても取り上げない。

■本大会参加によるレギュレーションへの同意
本大会に来場参加するチームは、当レギュレーションブック受領後、実行委員会に対しブロック大会出場の申し出をおこなった時点より、本大会のレギュレーション全てに同意したものとし、開催中の主催運営側に対する競技内容・レギュレーションに関する一切の意義申し立てを行わないものとする。

チーム名の規定について（お願い）
■チーム名の登録は、メンバー皆様の勤務先、学校名などの所属組織名でお願いしています。
今回で17年目を迎える「KYOSHO CUP」は、過去、R/Cカーレースとしては初の社会人選手権としてスタートしました。その結果、R/Cモデルが大人のスポーツとして社会的認知を得、さらにホビーとしての地位向上を獲得することに寄与してきました。それはR/C専門誌にとどまらず、各種新聞や一般雑誌での記事の多さにもあらわれています。ことに報道時のチーム名紹介に際し、企業名や組織名が織り込まれていることが、一般読者のいっそうの興味をそそったのは間違いありません。また、勤務先を冠したチームが報道された結果、「社内でのR/Cに対する理解が向上した」「会社の公認サークルとして補助が得られるようになった」「会社や上司がスポンサードしてくれるようになった」といったうれしい成果も報告されています。この事実をご留意の上、ぜひR/Cモデルの社会的地位向上のためにも、皆様のチーム名に所属組織の名前を織り込んでいただけますことをお願いいたします。
まだまだ“R/C＝おもちゃ”といった認識のされ方が目立ちます。皆様のご協力で、さらなる社会的地位向上と偏見の回避が図れますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

同一名称チームは末尾にアルファベットを付けて差別化して下さい（例：京商（株）A、京商（株）B…）。また、実在しない部署名等も認められません。

※建設的なご意見・ご提案等は今後のレースをより充実させるための参考材料として、書面に限り参加ブロック戦の終了後随時お受けします。なお、これによりブロック戦の結果が後日変更されることはありません。また、電話では一切受付けておりません。

車両規定【両クラス共通】

車両総則

KYOSHO PureTenシリーズ（V-ONE Sシリーズ、FW-05Sシリーズ、FW-05Tシリーズ、FW-06シリーズ、FAZERシリーズ）。車両寸法はキット標準とし、その変更を禁止する。

また、各クラスとも換装するオプションパーツは京商純正部品（R246ブランドを含み加工を要しないもので、付属説明書または本レギュレーションブックの指示通りに取り付けられたもの）に限り認めるが、**指定パーツ** の表示がある箇所については、指示以外のものはその使用を一切認めない。尚、この指定パーツの箇所についてはP11～P15を参照。

自作部品（防水対策を除く）の使用や、本レギュレーションブックまたは付属説明書に表示する以外の一切の加工を禁止する（ただし、V-ONE RRのリアボディマウントは、搭載ボディ形状に合わせてカットすることを認める）。またビス穴や軽量化のための肉抜き穴の開口は認めない（シャシー既存穴の皿加工や、エンジンマウント用穴の長穴加工は最小限に限り認める。指定外のパーツを外すことにより残る開口穴はそのままで良い）。部品の組み合わせにより、干渉する部位がある場合、最小限の加工を認める。

※シーズン途中の追加規定については下記ホームページで確認。

http://www.kyosho.com 内レースページ。

ボディ

指定のPureTenツーリングカータイプに限る（P11で紹介）。※ボディは原則として説明書指定のカットラインでカットのこと。スケール感を損なう改造およびカットは禁止する。ただし給油や冷却のための加工は、下記イラストの指定に沿うこと。また、V-ONEとFW、FAZERでボディの共用は認めない。

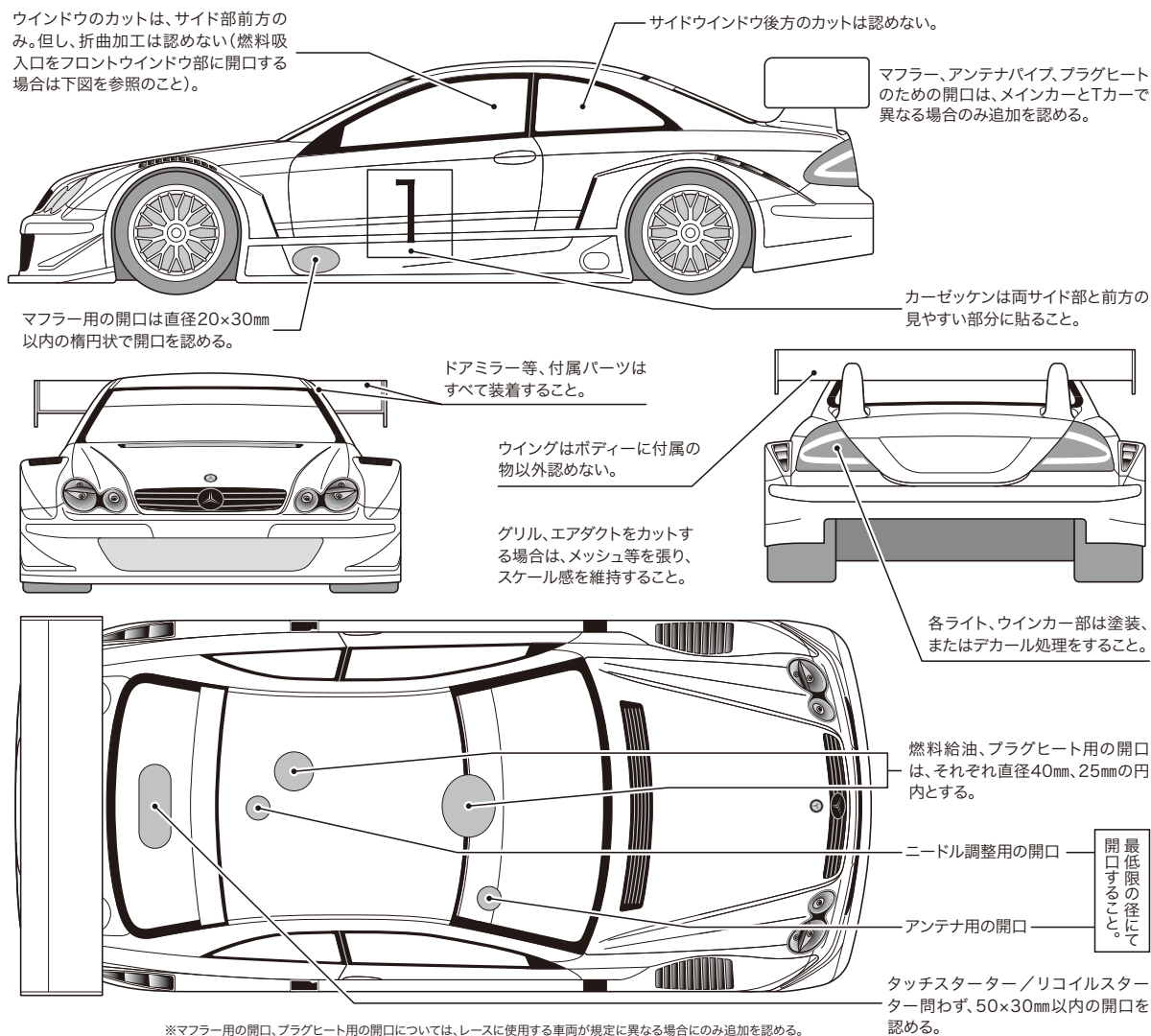
[カラーリング]

カラーリングは自由。ただしアクセサリーパーツ、ライト及びウインドウ以外は全て塗装を施し、未塗装部分を残してはならない。尚、各ライトはカラーリングまたはデカール処理、さらにウインドウはクリア、もしくはスモーク処理を行うこと。

[ウイング／アクセサリーパーツ他]

ウイングを装着する場合は、ボディ付属のものを説明図にしたがって取り付けること。ボディ指定のドアミラー、ワイパー、グリル等のアクセサリーパーツは必ず装着すること。※ただし、レース開催中に破損、紛失した場合はその限りでは無い。

[その他装着物]

原則的にアンテナと付属アクセサリー以外のボディ上部突起物は認めないが、実車を忠実に模すために必要な装着物（緊急自動車の回転灯、フォグライト等）は、車両の走行性能向上に影響せず、かつ他車に対して危険とみなされない場合に限り認める場合があるので、実行委員会に事前に問合わせること。※ボディ裏面の補強に関しては自由。

指定ボディ

指定パーツ

39292　ニッサン GT-R GT500 2008 基本ボディセット

39286　ニッサン フェアレディZ GT500 2007 基本ボディセット

39288　トヨタMR-S GT300 2007 基本ボディセット

※FW-05／FW-06に搭載する際、エンジンヘッドが干渉するため最低限の開口を認める。

39277　レクサス SC430 基本ボディセット

39287　ホンダ NSX GT500 2007 基本ボディセット

39297　アストンマーチン DBR9 2008 基本ボディセット

39294　シボレーコルベット C6-R 2007 基本ボディセット

39281　アウディ A4 DTM 2006 基本ボディセット

39289　AMG メルセデス DTM 2006 基本ボディセット

39276　AMG メルセデス DTM 2005 基本ボディセット

39285　ポルシェ 911 GT3 RSR 基本ボディセット

39283　フェラーリ F430GT 基本ボディセット

※両クラスとも上記のボディ以外では参戦できません。

車両規定（V-ONE SIII Evo.）

V-ONE SIII Evo. MOST ADVANCED RACING TECHNOLOGY

キット標準パーツは全て使用可

※V-ONE S/SII、FAZERはホームページをご覧ください。

指定パーツ

エンジンヘッド

SPクーリングヘッド&インナー ※ターボクーリングヘッドは使用不可	R246-4001

エンジン

GXR15	74016/B
GXR15V(シリアスクラスのみ)	74016V

フライホイール

フライホイール	VS057
フライホイール	VS054

マニホールド

マニホールド	VZ054
SPマニホールド(側方)	VZW104

タイヤ

KCスリックタイヤシリーズ	92018S/M/H

エアクリーナー

エアフィルター	92023
エアクリーナー	92907

ホイール

京商より発売の各種スポークホイール

※写真はV-ONE SIII Evo.(リコイルスターター仕様)です。

マフラー

チューンドサイレンサー(ニップル付)	39064
チューンドサイレンサー(Ø5.2)	39068
サイレントストリークチューンドマフラー	92971
T.Sチューンドサイレンサー	VZW218-01
S.Cサイクロンマフラー	VZW301

燃料タンク

75cc皿付燃料タンク(デュプロ) (タンクキャップFM510B-01へ変更可)	92050B
燃料タンク75cc	92301

メインシャシー

メインシャシー	VZ304
メインシャシー(SIII)	VZ049
SPメインシャシー(SIII)	VZW100
SPメインシャシー(7075-3t)	VZW108

車検対象外部品について

※右記のパーツは車検時に審査の対象外とする。

○サーボ・受信器・受信器用電源・スイッチ(ABSシステム・アクティブステアリングセンサー等含む)
○ビス・ワッシャー・ナット・シム・ダンパースプリングスペーサー類　○マフラー用ニップル、ステー、ジョイント用ストラップ類
○ボディキャッチピン　○タイヤ用インナー　○グロープラグ　○エアクリーナー用ジョイントパイプ　○燃料チューブ・燃料フィルター
○ストラップ類(燃料チューブホルダー含む。ボディピン・燃料キャップの取手・リコイルスターターの延長にも使用可)　○アンテナパイプ
○サーボホーン　○ベアリング・軸受けメタル類　○グリス・ダンパーオイル類　○ブレーキリターンスプリング　○スロットルリンケージ

※推奨パーツについてはKYOSHOホームページをご参照ください(www.kyosho.com)。

車両規定（V-ONE SR）

V-ONE SR™

※シリアスクラスのみ

キット標準パーツは全て使用可

指定パーツ

タイヤ

KCスリックタイヤシリーズ	92018S/M/H

エアクリーナー

エアフィルター	92023

エンジンヘッド

SPクーリングヘッド&インナー ※ターボクーリングヘッドは使用不可	R246-4001

エンジン

GXR15V	74016V

フライホイール

フライホイール	VS057

マニホールド

マニホールド	VZ266
マニホールド	VZW232

※他の指定マフラーと組み合わせても可。

ホイール

京商より発売の各種スポークホイール

マフラー

チューンドサイレンサー(ニップル付)	39064
チューンドサイレンサー(Ø5.2)	39068
サイレントストリークチューンドマフラー	92971
T.Sチューンドサイレンサー	VZW218-01
サイクロンマフラー	VZW232

燃料タンク

VZ207／VZ207B／VZ207C

メインシャシー

メインシャシー	VZ265
メインシャシー ※エンジンマウント長穴の最小限の加工を認める。	VZ228
メインシャシー(Evo.2) ※エンジンマウント長穴の最小限の加工を認める。	VZ252

車検対象外部品について

※右記のパーツは車検時に審査の対象外とする。

○サーボ・受信器・受信器用電源・スイッチ(ABSシステム・アクティブステアリングセンサー等含む)
○ビス・ワッシャー・ナット・シム・ダンパースプリングスペーサー類　○マフラー用ニップル、ステー、ジョイント用ストラップ類
○ボディキャッチピン　○タイヤ用インナー　○グロープラグ　○エアクリーナー用ジョイントパイプ　○燃料チューブ・燃料フィルター
○ストラップ類(燃料チューブホルダー含む。ボディピン・燃料キャップの取手・リコイルスターターの延長にも使用可)　○アンテナパイプ
○サーボホーン　○ベアリング・軸受けメタル類　○グリス・ダンパーオイル類　○ブレーキリターンスプリング　○スロットルリンケージ

※推奨パーツについてはKYOSHOホームページをご参照ください(www.kyosho.com)。

初めてレースに参戦するあなたへ

〈レース進行の手順〉

レース当日は、少し早めに会場へ。そして余裕を持って受付に行こう。予定が変わっていないかどうかを事前に調べておくのも忘れずに。遅刻は厳禁!

受付開始の連絡（放送等で）があったらプロポ、エントリーフィーを持って受付へ。組合せなどの参考ともなるので、バンド（周波数）等のテクニカル事項は特に気をつけたい。

レース中のプロポの管理は各自の責任。
自分の出走時以外はプロポのスイッチを入れないように!

受付ではプロポの電波チェックを受ける。
※車検はアナウンスに従うこと。

アナウンスに従い各チームと各マシンは集合。記念撮影後、カラーリングを競う"コンクール・ド・エレガンス"の審査を開始。

ドライバーズミーティングに集合。メモを取るなりして伝達事項を確実に把握しておく。不明点があればこの時に質問する。

エントリーボードにレース順・組合せが発表になるので確認。前レーススタート後、トランスポンダと燃料が配られるので、アナウンスに注意して待機。同時にカーナンバーシールも受け取ってボディー上部、側部の見やすい部分に貼っておく。

開始2分前の連絡でプロポのスイッチを入れ、ドライバーはドライバーズスタンドへ、クルーはマシンをスタートラインへ並べ、ピットエリアへ。スタート時間はいかなることがあろうとも厳守される。しかし遅れた場合も失格にはならないので、あきらめずに出走しよう。万一、ノーコンで車が異常な動きをするときは、スタート前にオフィシャルに申し出ること。

以降のレースは、前レーススタート後のレース中に燃料ポンプとトランスポンダの配布があるので、各自受付に出向いて受け取る。これをミスしないよう、出走順番に気を配ることが肝心。アナウンス等で連絡は行われるが、レース中なので聞き取りづらいため注意したい。

次のレースは前レース終了後、各バンドの電波が発信されていないかの確認が行われた後に開始連絡が行われる。この時点でプロポのスイッチを入れ、コース上を走行することが許されるが、スタート30秒前のアナウンスでスタートグリッドに集合する。この間の走行は、クラッシュすることの無いよう慎重に。また、スターティンググリッドからの人の手による押出スタートは禁止する。

コースマーシャルは設けないので、レース中にマシンが転倒、あるいはコースアウトしたら、ピットクルーがマシンを助けに走る。その際、他車の走路妨害等を行わないよう注意。

周回遅れは追い越し車にラインをゆずること!

走行不能になったマシンの回収の際には、できるだけコース内を横断しないこと。必ずコースフェンスの外を回って現場への往復をすること。また計測アンテナを設置しているゴールライン付近を横切らないこと。次ページで紹介しているオートラップカウンターの誤計測が発生、ラップ数等に間違いが生じてしまう。

コース逆走厳禁!

修理は必ず指定のピットエリア内で行うこと。そのためにもレースが始まる前に、必要工具やパーツはピットエリア内に運び込んでおく。修理後はピットレーンから再スタートする。

走行後は速やかにプロポのスイッチを切り、燃料とトランスポンダを返却して各自のパドックへ戻ろう。しばらくたってボードに結果が掲示される。

決勝も同様の手順でレースは進行される。くれぐれも進行の妨げにならないように気をつけよう。さらにマナーにも気を配って、レースを全員でエンジョイしよう。

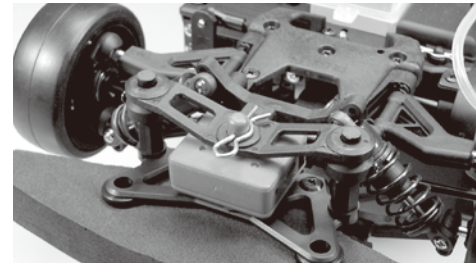
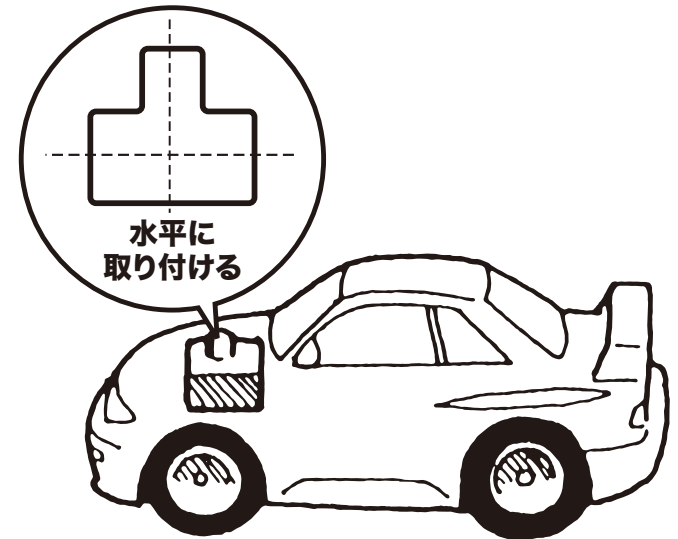
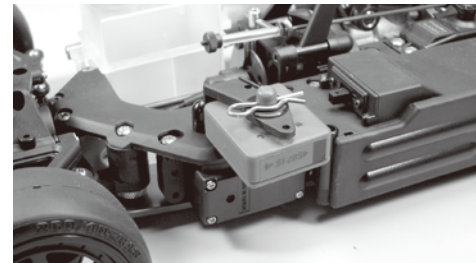
それでは健闘と幸運を祈る!

計測用トランスポンダの正しい取付方法

レースタイムを正確にカウントするために搭載するトランスポンダ（発信機）は、付属のトランスポンダステーに下図のように路面と水平に取り付けする。

■取り付け例【V-ONE SIII】

■取り付け例【FW-05S/T】

水平に取り付ける

※注意事項

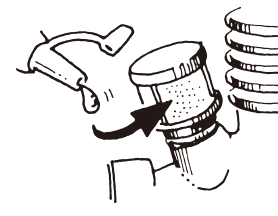
エンジン、マフラーなど高温になるパーツの近くや、カーボンアッパーデッキの上はトランスポンダの作動が不安定になるので、基本的に付属のステーで所定場所への取付をお願いします。取付不備による未計測の救済はありません。

⚠ご注意

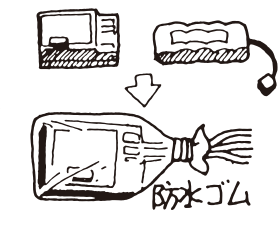
マシンを持っての移動やレース中のマシン回収などの際、オートラップカウンターのアンテナ付近（通常はゴールライン）を横切ると、誤ってカウントされてしまいます。公正なレースを行うために十分注意して行動して下さい。

KYOSHO CUPは小雨決行!! ウェットコンディションに備えた対策を!

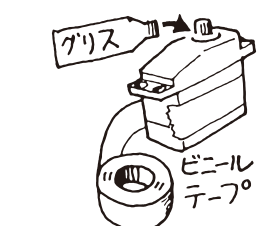
■エンジン

回転中に燃焼室へ水が進入するとエンジンストップの原因となるので、エアクリーナー表面にエアクリーナーオイル（No.1948/96169）を塗布しておくと効果的。また、ピットイン毎にエアフィルターを絞って染み込んだ雨水をとるなどの気配りも必要。

■受信機 & バッテリー

受信機やバッテリーが水に浸かってしまうと、正常なコントロールは不可能。コネクタ部分やケースの継ぎ目、アンテナ部分から浸水しやすいので、防水ゴム袋（TR-12）やビニール袋に入れ、口をストラップやラバーバンド等で塞いでしまっておこう。

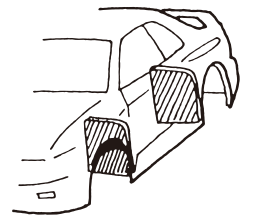
防水ゴム

■サーボ

ケースの継ぎ目にビニールテープを貼り、リード線部分はシリコンシール（No.96152）などであらかじめシーリングしておきたい。さらに出力軸部分にはグリス等を盛っておくのも効果的。また防水タイプのサーボを使用すれば万全。

グリス
ビニールテープ

■スイッチ

最近のスイッチはカバーが装着され、比較的水の飛沫等には強くなったが、できるだけ水のかからない場所に装着しておくのが得策。さらにリード線接合部などをシリコンシール（No.96152）でシーリングしておくといいだろう。またオイルスプレー等を内部に吹き付けておくのも、応急だが効果がある。

■車　体

タイヤが跳ね上げた水が、ボディ裏側から浸入するのを防ぎたい。そのために、シャシーの穴やボディとの隙間等をガムテープ等で覆っておくとある程度浸水を防げるはずだ。さらにタイヤの直後や前、横等にプレートを装着すると、そこに水が当たってシャシー内への浸入を防げる。ちょうど実車のホイルハウスを分割装着するような感じだ。

ご注意

ここに取り上げた防水対策は当社ならびにプロポメーカー各社が本来奨励する方法ではありません。これらに伴う動作不良、特に雨水が原因の故障・事故については各社その責を負えないことをご了承ください。

Accessory for KYOSHO

※その他のアイテムはKYOSHOホームページ（www.kyosho.com）よりご確認ください。

シリコンオイル
No.SIL100～SIL500000
（♯100～♯1300）　各¥630(税込)
（♯2000～♯7000）　各¥630(税込)
（♯100000～♯500000）　各¥1,365(税込)

デフギヤグリス
ボールデフグリス　No.96501～96505
（♯1000～♯30000）
HGジョイントグリス　No.96508
ワンウェイベアリンググリス　No.96509
各¥840(税込)
ボールデフグリス　No.96506B　¥945(税込)

放熱グリス（10g）
No.96175　¥945(税込)
金属同士の接合部分に薄く塗り込んで使用。熱の伝導を促して、放熱口かを発揮。

スペシャルベアリングリキッド
No.96625　¥1,050(税込)
ベアリングへの塗布することで、よりスムーズで高効率な作動を約束。細部へも楽に滴下できる注入口を装備。

シリコンシール
No.96152　¥840(税込)
シリコンならではの柔軟性と強靭さで、抜群の密着力と固定力を発揮。雨対策や防振固定など、様々な用途で活躍。

ロックタイト
中強度：No.96178　高強度：No.96179
各¥945(税込)
緩み止めやベアリング、メタル等の固定に。中強度は緩み止めに、高強度は固定用に最適。

KYOSHOスペシャルグルー
No.96154　¥735(税込)
ラバータイヤとホイールの接着に最適の瞬間接着剤。ホイールとの隙間への浸透性に配慮した低粘度タイプ。

ストレートリーマー（3.05㎜）
No.YKW001　¥2,940(税込)
サスアームのシャフト穴をベストサイズで滑らかな仕上がりにする専用リーマー。サス作動の円滑化と安定化を約束。

SPナイフエッジリーマー
No.36219　¥1,890(税込)
穴の拡大、成型に威力発揮。滑らかで鋭い切削を実現。刃先の保護と携行性に配慮して、グリップ部に刃を収納可能。

・測定範囲/約-33～180℃
・本体サイズ/約83×19×19㎜
・本体重量/約17g

サーモメーターmini
No.36207　¥2,940(税込)
軽量・コンパクトな超小型、非接触型デジタル温度計。ストラップ付き。

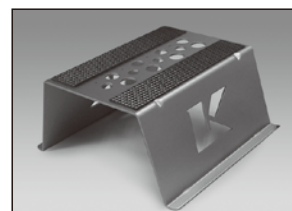
ダンパーピットスタンド
No.36218　¥735(税込)
ダンパーの作業時に最適なスタンド。前のプレート部分がマグネットなのでビス等の紛失を防止。
※写真のダンパー、ビスは含まれません。

スパークブースター2.0
No.36215　¥1,890(税込)
（ORION 2200付）　No.36216S　¥2,730(税込)
ブースターチャージャー2.0
No.36217　¥1,995(税込)

POWER ZONE PS-25A（DC12V安定化電源）
No.72321　¥14,700(税込)
DC12Vで最大25Aの電流供給を実現。タイヤセッター、急速充電器等々のエクイップメントに安定した12V電流を供給。バナナクリップ端子とワニ口用端子の2出力を装備。同時出力も可能。冷却ファン2個を内蔵。長時間に渡って安定した電源供給をバックアップ。

POWER ZONE AC/DC クイックチャージャー
No.72301　¥18,690(税込)
送信機、あるいは受信機用バッテリーとプラグヒーターの同時充電が可能。ACおよびDC電源に対応。

マルチスターターボックス2.0
No.36209　¥8,190(税込)
ハイトルク550クラスモーターを2基装備。静音性に優れたベルトドライブを採用。サイドワインダーモデル、センターシャフトモデルの両方に対応。別売の7.2Vバッテリー2本使用で1/10～1/8モデルまで幅広く適合。

K.R.Fモーターチェッカー
No.36213　¥17,325(税込)
転数を測定可能。モーター回転中でも設定電圧の変更が可能（0.1Vステップ）

メンテナンススタンド
No.87651　¥1,890(税込)
カー用に高さを低く設定した、収納に便利なメンテナンススタンド。上部には滑り止めのラバーを装備。

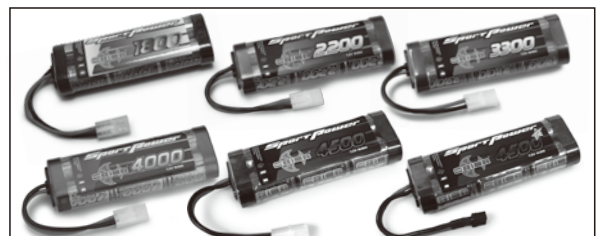
ピットボックスDX
No.80460　¥16,000(税込)
サイズ：542㎜×300㎜×397㎜
ピットボックス
No.80461　¥7,140(税込)
サイズ：420㎜×240㎜×330㎜

KYOSHO キャリングバッグ
M（1/10用）：No.87614　¥7,000(税込)
サイズ：300㎜×500㎜×450㎜
L（1/8用）：No.87615　¥8,000(税込)
サイズ：350㎜×550㎜×540㎜
インナーBOXにプラスティック段ボールを採用。

Big K ピットマット
M：No.80821　¥1,800(税込)
サイズ：400㎜×600㎜×3㎜
L：No.80822　¥3,800(税込)
サイズ：600㎜×1,000㎜×4㎜
裏面に滑りにくいスポンジゴムを使用。

Accessory for ORION

※その他のORIONアイテムはKYOSHOホームページ（www.kyosho.com）よりご確認ください。

ORION スポーツパワー Lipo
Lipo 2400（7.4V/25C/STDプラグ）：No.ORI14112　¥4,200(税込)
Lipo 3000（7.4V/25C/Sプラグ）：No.ORI14113　¥5,040(税込)
Lipo 3500（7.4V/25C/STDプラグ）：No.ORI14114　¥5,880(税込)
Lipo 4000（7.4V/25C/Sプラグ）：No.ORI14115　¥6,720(税込)

ORION スポーツパワー
1800：No.ORI10338　¥2,100(税込) / 2200：No.ORI110325　¥2,625(税込)
3300：No.ORI10326　¥3,780(税込) / 4000：No.ORI10327　¥5,040(税込)
4500：No.ORI10347　¥5,460(税込) / 4500（スーパープラグ）：ORI10348　¥5,565

アドバンテージ クラブマンLipoチャージャー
No.ORI30126　¥7,140(税込)
付属のバランシングボードを使用してスポーツパワーLipoバッテリーシリーズのバランス充放電が可能。Lipo/LiFe/NiMH/NiCd対応。

アドバンテージ レーススペックチャージャー
No.ORI30127　¥9,450(税込)
充放電電流最大10Aのハイスペックチャージャー。Lipo/LiFe/NiMH/NiCd対応。

ボルテックス デジタルサーボ
各¥13,650(税込)
<ノーマルサイズ>
VDS-2015：No.ORI68000 / VDS-1007：No.ORI68001 / VDS-1409：No.ORI68002
<ロープロサイズ>
VDS-0910：No.ORI68003

Accessory for R246

※その他のR246アイテムはKYOSHOホームページ（www.kyosho.com）よりご確認ください。

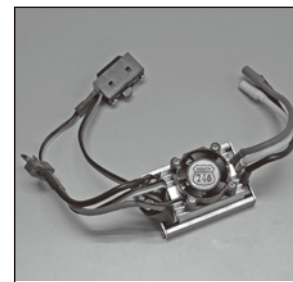
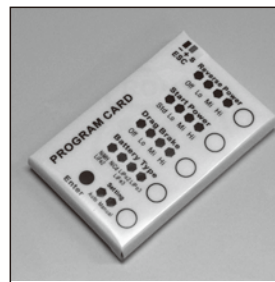
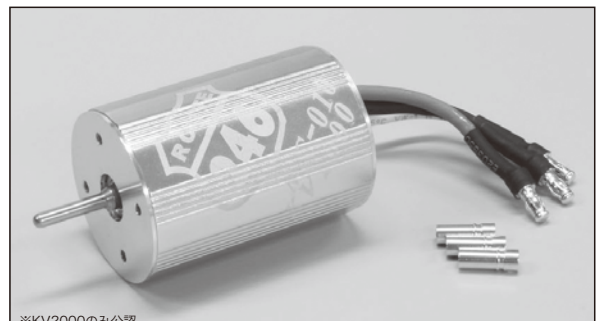
GP FUEL カー用

ニトロ16% オイル12%
<KYOSHO TROPHY公認燃料>
2L缶：No.R246-8601 ¥2,835(税込)
4L缶:No.R246-8611 ¥4,935(税込)

ニトロ20% オイル12%
2L缶：No.R246-8602 ¥2,993(税込)
4L缶:No.R246-8612 ¥5.670(税込)

ニトロ25% オイル12%
2L缶：No.R246-8603 ¥3,518(税込)
4L缶：No.R246-8613 ¥6,510(税込)

ニトロ30% オイル12%
2L缶：No.R246-8604 ¥3,990(税込)
4L缶：No.R246-8614 ¥7,140(税込)

YUNTONG RACING バッテリー 7.2V NiMHバッテリー
2200:No.R246-8411　¥1,890(税込)
3000:No.R246-8422　¥2,730(税込)
3600:No.R246-8413　¥3,360(税込)

SCセンサーレスアンプ
<TF-5 SUPER GT チャレンジ公認>
SC-060 No.R246-8321 ¥7,140(税込)
冷却効果を最大限に考えたカー用センサーレスアンプ。熱伝導率に優れる金属製ケースの採用と冷却ファンの装備により冷却性に優れます。MC-010センサーレスブラシレスモーターに最適。連続電流60A、瞬間最大電流90A。

SC-010 プログラムカード
No.R246-8330 ¥1,575(税込)
R246 SC-060ESC用のプログラムカード。ESCのRXコネクターを接続するだけで煩わしい設定不要のシンプルな設計。リバースパワー、スタートパワー、ドラッグブレーキ、バッテリータイプの設定を変更可能。

※KV2000のみ公認

MC-010 センサーレス ブラシレスモーター
<TF-5 SUPER GT チャレンジ公認> KV2000 No.R246-8301 ¥5,775(税込)
KV3000：No.R246-8302　¥5,775(税込) / KV3500：No.R246-8303　¥5,775(税込)
KV4000：No.R246-8304　¥5,775(税込) / KV5000：No.R246-8305　¥5,775(税込)

FAX送信方向

申込日	月	日

KYOSHO CUP 2010 エントリー用紙

エントリーにあたっての注意事項

【参加資格】R/Cメーカー関係者は参加できません。また、平成17年以降のJMRCA（日本ラジオコントロールカー協会）主催の全日本選手権の本選で決勝Aメインに出られた選手の方はドライバーとしての参加はできません。
【チーム名】原則として代表者の方の勤務先、学校名とさせていただきます（あるいはチームメンバーの方の勤務先、学校名）。
【参加大会】敗退後は以降行われるエントリー締め切り（開催日の2週間前）に間に合う大会に参加することが出来ます。

代表者氏名	年齢	性別	担当
フリガナ	歳	男・女	ドライバー／メカニック／その他

ご住所	ご連絡先電話番号
（〒　　―　　）	① 自宅　勤務先　携帯　（ご希望時間帯　時〜　時）　―　―
	② 自宅　勤務先　携帯　（ご希望時間帯　時〜　時）　―　―

e-mail アドレス ※PCからのメールが受信可能なもの	FAX
@	自宅　勤務先　―　―

代表者勤務先・学校名（チーム名になります）	参加地区大会及び参加クラス	
フリガナ チーム名 □□□□□□□ – □（アルファベット） チーム ※登録の関係上、右記文字数でお願いします。 ※不適切なチーム名は主催者側判断で変更させていただく場合がありますのでご了承ください。（P9参照）	大会	エンジョイクラス／シリアスクラス

メンバー登録欄（代表者を除く）

氏名	年齢	性別	ご住所	勤務先・学校名	担当
		男・女			ドライバー／メカニック／その他
		男・女			ドライバー／メカニック／その他
		男・女			ドライバー／メカニック／その他
		男・女			ドライバー／メカニック／その他
		男・女			ドライバー／メカニック／その他
		男・女			ドライバー／メカニック／その他
		男・女			ドライバー／メカニック／その他

本年度すでに参加した大会名記入欄 ※開催済みの地区レース敗退チーム

エントリーお申込みFAXナンバー ▶046-229-0086 京商株式会社 KYOSHO TROPHY実行委員会

キリトリ線

TF-5　SPADA 09L　DRX

FAX送信方向

申込日	月	日

TF5 SUPER GT & SPADA & DRX CHALLENGE エントリー用紙

エントリーにあたっての注意事項

【参加資格】R/Cメーカー関係者は参加できません。また、平成17年以降のJMRCA（日本ラジオコントロールカー協会）主催の全日本選手権の本選で決勝Aメインに出られた選手の方はドライバーとしての参加はできません。
※**ダブルエントリーまで可。**
【参加大会】敗退後は以降行われるエントリー締め切り（開催日の2週間前）に間に合う大会に参加することが出来ます。

参加レース ※参加されるレースに○をつけて、参加地区大会をご記入ください。

レース	○	参加地区大会
TF5 SUPER GT CHALLENGE		大会
SPADA CHALLENGE		
DRX CHALLENGE		

参加者氏名
フリガナ

年　齢	性　別
歳	男　・　女

ご住所
（〒　　―　　）

ご連絡先電話番号	FAX
① 自宅　勤務先　携帯　（ご希望時間帯　時〜　時）　―　―	自宅　勤務先　―　―
② 自宅　勤務先　携帯　（ご希望時間帯　時〜　時）　―　―	

e-mail アドレス ※PCからのメールが受信可能なもの
@

本年度すでに参加した大会名記入欄 ※開催済みの地区レース敗退チーム

エントリーお申込みFAXナンバー ▶046-229-0086 京商株式会社 KYOSHO TROPHY実行委員会